

実は勉強中に音楽を聞いてもいいんです！！

～音楽と暗記力の関係性～

班員 上野優希 中野瑛斗 三浦晃生
古川京子 緒方楓

指導者 上富 秀一先生
田部 豊 様

研究の動機

・人間が素早く暗記する条件を見つけることで、LEAPや古典単語をすぐに覚えることができ、時間を効率的に使うことができると思ったから。



研究の目的

・暗記しやすい条件を見つけ、勉強を効率よく進めるため。また高校生、受験生の暗記に費やす時間を減らすため。

先行研究

・「音楽を聞きながら勉強することは良くない」という常識的な考え方とは一致しない。

研究方法

○初めに何も条件を加えずテストを受ける(音源なし)
次に音楽を流した状態で問題を見て音楽を止めて問題を解く。(音源あり)

①音楽の種類

・『超集中』(stardy_河野玄斗の神授業)

②問題の種類

・数字の羅列30桁
(使用したもの)
紙 ペン タイマー



仮説

先行研究より、音楽によっては、何も聞かないより暗記力が上がるはずだ。



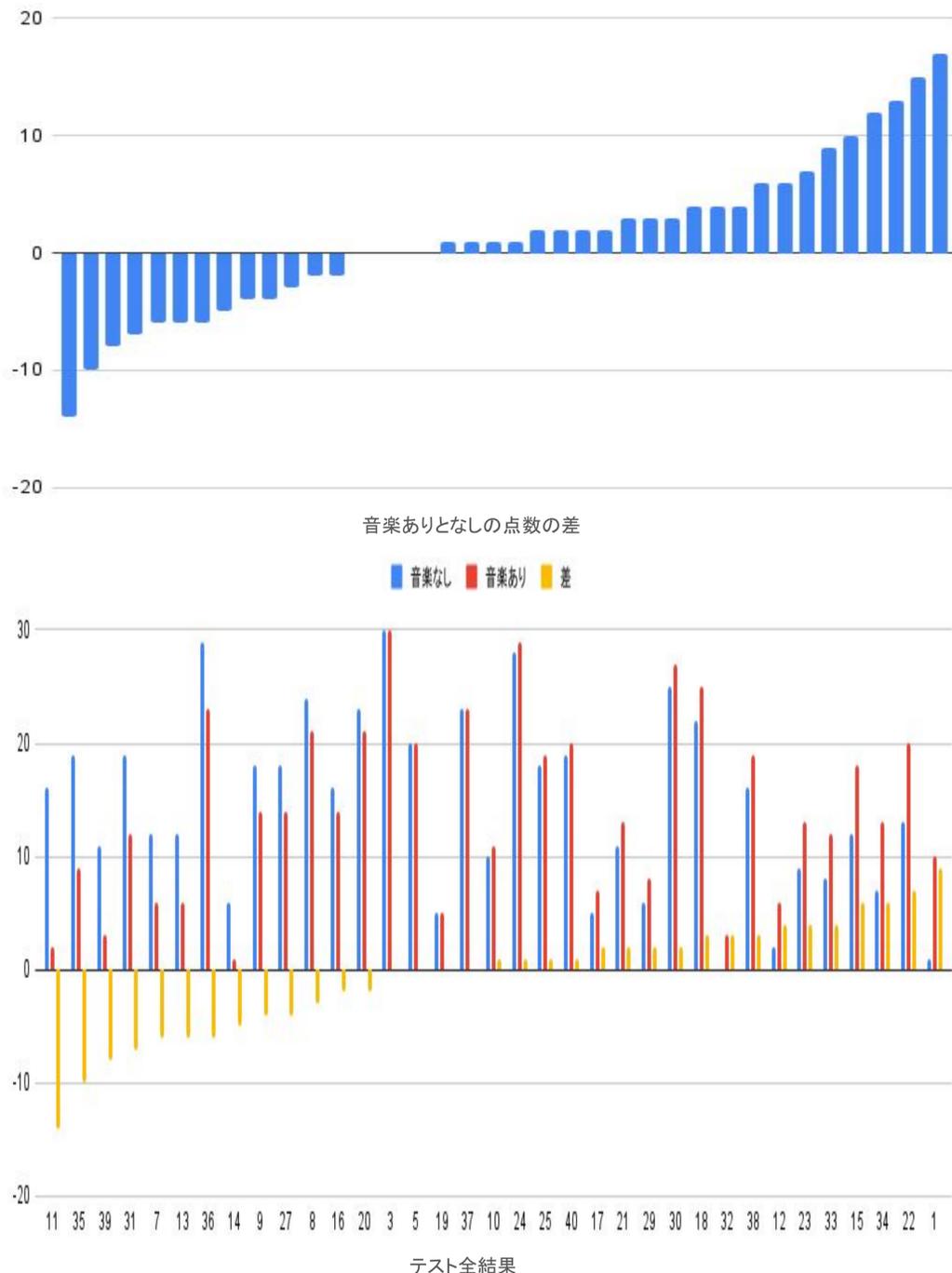
参考文献

和歌山大学教育学部教育実践総合センター

[計算および記憶課題に及ぼすBGMの影響について](#)

結果

- ①40人分のデータによると、音楽ありとなしとの**点数の差の合計が55**だった。
- ②音楽なしよりありの方が高かった。
- ③人によって音源ありとなしとの差が激しい
- ④音楽なしの点数の**合計540**
- ⑤音楽ありの点数の**合計595**



考察

40人分のデータによると、音楽ありとなしとの**点数の差が55**だったので、音楽によって数字の羅列の記憶力が上がったと考える。音楽によって脳内で記憶力上昇に関する効果が見られた。